

一念発起

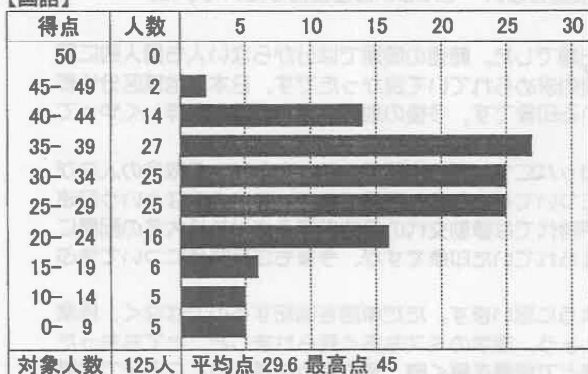


平成29年5月30日号
豊田中学校 第2学年だより
発行責任者 石川収一

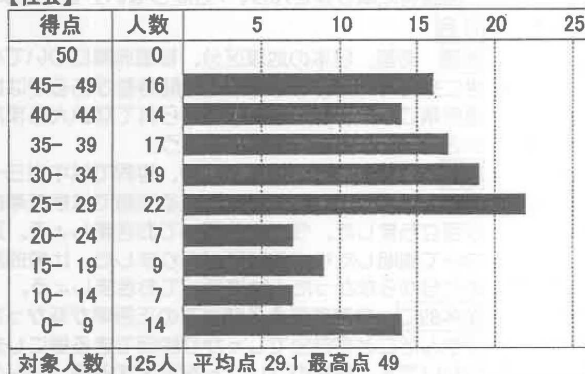
1 学期中間テストの結果

中間テストの結果が出ましたので、お知らせします。新しい教科担任が多く、テスト対策にやや戸惑いもあったようですが、テスト範囲の紙に載せられた「学習のアドバイス」を読んで、しっかり授業の復習をした人は、大丈夫であったように思います。入試では2年の学習内容から一番多く出題されます。ふだんの授業を大切にして、着実に復習を積み重ねていきましょう。

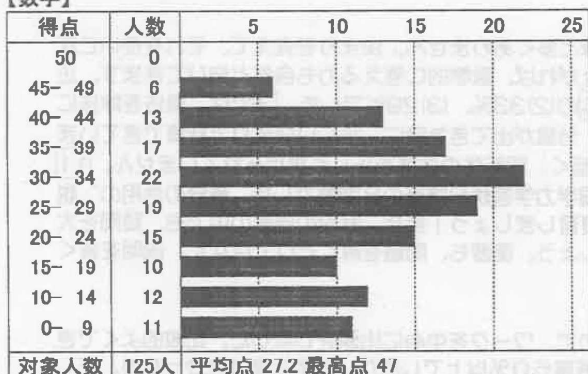
【国語】



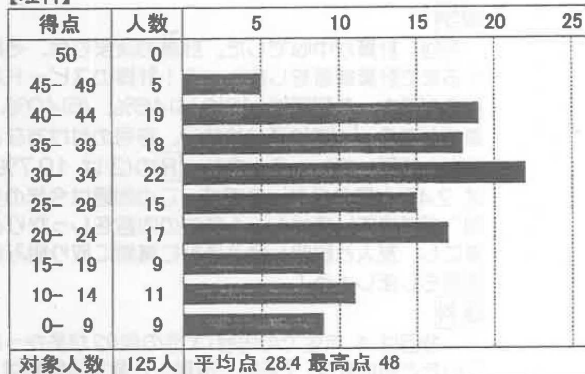
【社会】



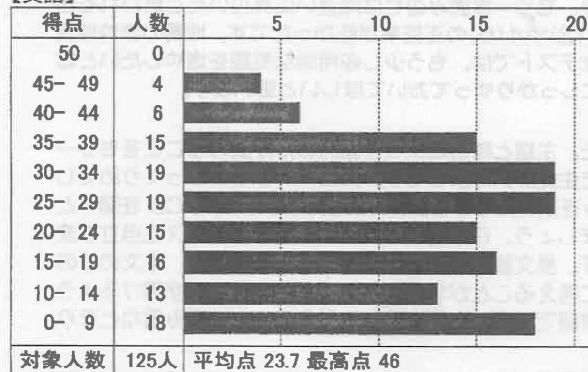
【数学】



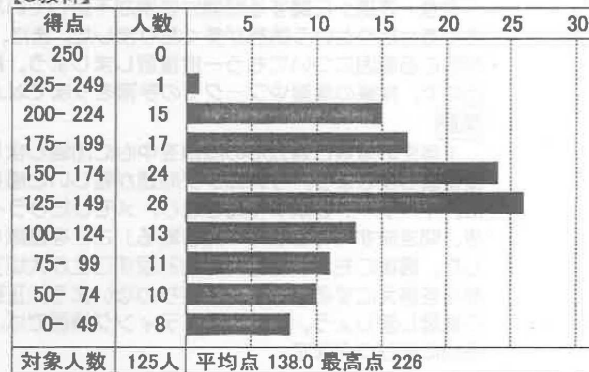
【理科】



【英語】



【5教科】



1 学期中間テストを終えて（教科担任より）

国語

韻文（詩）、物語文、古文という多岐にわたる範囲からの出題でした。韻文は、短い言葉の中に情景やメッセージを含めるために様々な工夫を必要とします。その表現技法に関する知識や、言葉からどれだけのことを読み取れているかを確認める問題を多く出題しましたが、知識面の定着が甘い人が多く見られました。物語文では、登場人物の思いを中心に問いました。字数制限の中で答えを作成する論述問題を苦手とする人がいます。授業で課題や問いに対する考えを自分の言葉で表現している人とそうでない人とは差が出てきていますので、書くことから避けるのではなく、日頃から自分の考えを書いたり話したりすることに挑戦してほしいと思います。古文では、「歴史的仮名遣い」の問題で依然間違いが見られます。何を問われているのかを捉えるためにも、正しい語句の理解が必要だと感じます。そのほかに課題が多いと思われるのは、漢字の読み書きです。10問とも「漢字練習ノート」からの出題ですが、正答率が低いです。漢字を用いた言葉の意味が分からないために、漢字自体は知っていても文脈の中で「使えない」「読めない」のだと思います。書き取りを作業として行うのではなく、未知の言葉に出会ったら辞書で調べるといった取り組みも必要です。

国語科に限りませんが、「分からない」をそのまま放置しない…そんな学習を目指したいですね。

社会

地理 時差、日本の地域区分、都道府県についての出題でした。時差の問題では分からない人も個人的に聞きに来てくれたこともあり何時間時差があるかは比較的求められていて良かったです。日本の地域区分や都道府県についてはしっかり覚えられていない人もまだいる印象です。今後の地理で日本のことを詳しくやっていきます。復習しておきましょう。

歴史 日本では安土桃山～江戸、世界では中世ヨーロッパについての出題でした。カトリック教会の人々がアジアに繰り出した目的を答える問題では宗教革命についてしっかりと理解できていないのかなという記述が目立ちました。今一度確認しておきましょう。江戸時代では参勤交代の目的を答えさせたり大名の配置について説明したりする問題がありました。比較的答えられていた印象ですが、今後も江戸時代について学ぶので分からなかった人は復習しておきましょう。

全体的に 文章で答える問題での正答率が低かったように思います。ただ単語を暗記するのではなく、授業で学んだことを自分でしっかり説明できる様にしましょう。漢字のミスも多く見られました。とてももったいないです。授業のプリントを記入する時、ワークなどで問題を解く時、そのような細かいところまで意識するようにしましょう。

数学

今回、計算が中心でした。計算の決まりは、それほど多くありません。決まりを覚えて、それを使いこなせるまで計算練習をしましょう！計算のスピードが上げれば、数学的に考える力も自然と伸びてきます。正答率が低かった問題は、③の(4)46%、(5)40%、④の(2)33%、(3)29%でした。③では、乗法を除法に直すところ、④では通分や約分、符号の付け方など、分数が出てきた時に、正しい決まりで計算できていません。練習しましょう！また、⑧の(2)は19.7%と低く、回転体の体積を正しく求められていません。⑪は2.4%と最も低かったです。この問題は今年の全国学力学習状況調査のB問題でした。資料の活用”説明”ができていません。1年生の内容をしっかりと復習しましょう！また、普段の授業の中でも、疑問を大事にし、友人と説明し合う活動に真摯に取り組みましょう。復習も、問題を解くだけでなく、説明を書く練習もしましょう！

理科

今回は1年生での内容(大地の変化)が多かったので、ワークを中心に出題をしました。比較的よくできていたと思います。「知識・理解」に関する問題は正答率60%以上でしたが、漢字で書けなかったり、正しく覚えてなかったりという誤答が多くありました。ワークの丸付けを丁寧にやるのが大事だと思います。「思考・表現」に関する問題は表現が不足していたり、もう一度読み返せば間違いに気付いたと思われる答えであったりという誤答が多くありました。また、3(2)や4(6)の正答率が低かったです。地震の波や地震が起こる原因についてもう一度復習しましょう。期末テストでは、もう少し応用的な問題を増やしたいと思うので、授業の復習やワークでの学習を今まで以上にしっかりとやってほしいと思います。

英語

1年生の復習と過去形の問題を中心に出題しました。主語と時制によって動詞の形が変わることをもう一度復習しましょう。リスニング問題が難しいと感じた生徒がいたようです。スピードはややゆっくりめでした。キーワードを素早く聞き取り、メモしたりラインを引いたりする訓練が必要です。授業でCDを聞くと、聞き流すのではなく「聞き取る」ことを意識しましょう。日本語を過去形にしなかったミスが目立ちました。最後にもう一度全文を読み返すことが大切です。長文読解の中の日本語で答える問題は、本文のどの部分を答えにするかを考えて落ちないように正確に答えることが求められます。基本文は必ず書けるように練習しましょう。毎日のライティング練習では、単語ではなく文章を書いて覚えることが積み重ねとなり得点に結びつきます。